



議会だより

今日も元気にいってきます

(4月11日 登校時見守り活動)



3月の定例会

- 令和4年度予算について…………… 2P
- 予算特別委員会報告…………… 4P
- 7人が町の課題を問う…………… 9P

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



99億9644万円

令和4年4月定例会を3月4日から18日の15日間開催した。

専決処分承認案2件、条例制定案2件、条例改正案5件、3年度補正予算案6件、4年度一般会計予算案16件、契約締結案1件、選挙管理委員会委員の選挙、人事案3件を慎重審議し、全会一致で原案の通り可決した。また、当初予算については、予算特別委員会を設置し分科会および全体会で審議し、採決の結果原案のとおり可決した。

一般会計予算（歳入内訳）

自主財源 36億696万円(36.1%)

() 内は構成比率

町で集めた財源

・町税	13億4399万円 (13.4%)	皆さんが納めた税金
・繰入金	14億8920万円 (14.9%)	基金などから
・分担金・負担金	8802万円 (0.9%)	
・使用料・手数料	9206万円 (0.9%)	
・財産収入	1535万円 (0.2%)	
・寄附金	8910万円 (0.9%)	
・繰越金	4502万円 (0.4%)	
・諸収入	4億4422万円 (4.4%)	

自主財源とは…
自主的に収入できる財源。



依存財源 63億8948万円(63.9%)

国・県からの収入・借入金などの財源

・地方交付税	26億円 (26.0%)	国から交付されるお金
・国庫支出金	6億4886万円 (6.5%)	国からの補助金など
・県支出金	4億6687万円 (4.7%)	県からの補助金など
・町債	22億1654万円 (22.2%)	町が借入れるお金
・地方譲与税	7534万円 (0.8%)	
・利子割交付金	142万円 (0.0%)	
・配当割交付金	980万円 (0.1%)	
・株式等譲渡所得割交付金	1250万円 (0.1%)	
・法人事業税交付金	1386万円 (0.1%)	
・地方消費税交付金	3億2620万円 (3.3%)	
・ゴルフ場利用税交付金	46万円 (0.0%)	
・環境性能割交付金	735万円 (0.1%)	
・地方特例交付金	918万円 (0.1%)	
・交通安全対策特別交付金	110万円 (0.0%)	

依存財源とは…
国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたりする町の収入。



新年度の注目事業



年内完成予定の新庁舎



選挙ポスター掲示板



空調設備を更新するまほらの湯



整備が進む
いきいきスポーツ公園



歴史文化館に改修予定の
旧塩の華



図書館が合築される
国の合同庁舎

- 新庁舎建設事業費 15億4959万円
- 新庁舎備品購入費 6171万円
- 町議会議員選挙費 2547万円
- 参議院議員選挙費 1348万円
- 山梨県知事選挙費 1282万円
- 峡南医療センター企業団運営負担金 3億5359万円
- 峡南医療センター企業団貸付金 2億円
- 商工振興事業補助金（ゆるキャン△） 100万円
- まほらの湯空調設備更新工事 927万円
- 青柳32号線道路改良工事 1880万円
- 防災無線屋外拡声子局転換工事 1億7228万円
- 富士川いきいきスポーツ公園整備事業 5050万円
- デジタルシティズンシップ教育業務 125万円
- 授業支援ソフト導入業務 312万円
- 歴史文化館改修工事等 1577万円
- 増穂小学校夜間照明LED化工事 1404万円
- 図書館建設事業負担金 3億2461万円

令和4年度特別会計予算

(前年比%)

国民健康保険	16億5884万円	(7.7)	営農飲雑用水事業	565万円	(△38.1)
後期高齢者医療	4億1619万円	(14.1)	箱原農業集落排水事業	1637万円	(24.9)
介護保険	18億381万円	(△0.5)	鹿島財産区	5万円	(0.0)
介護サービス事業	7420万円	(△0.6)	カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	44万円	(1.2)
奨学金	48万円	(0.0)	かじかの湯事業	5408万円	(10.8)
簡易水道事業	1億3492万円	(15.4)	峡南地区通級指導教室共同設置	185万円	(0.0)
下水道事業	6億4133万円	(0.2)	峡南地区充指導主事共同設置	75万円	(△13.4)

水道事業会計 収益的支出 2億6852万円 (0.1)
資本的支出 3億9413万円 (160.6)

予算特別委員会報告

(令和4年度予算)

— 分科会報告 —

ひとづくり分科会

〔生涯学習課〕

問 歴史文化館管理説明員等の報償費の内容は。

答 学芸員資格者に開館までの監修作業にあたってもらい、開館後は、見学者への説明等の業務にもあたってもらう。

問 増穂小学校校庭夜間照明LED化事業の内容は。

答 設計では投光器は、32器を予定。電気ケーブルや照明器具制御盤等の改修も行う。財源はスポーツ振興くじを申請している。

〔教育総務課〕

問 新規予算化のデジタルシテイズンシップ教育業務とは。

答 事業費の6分の5を充当してもらえ、県の先進的補助事業費を活用して行い、子どもたちがタブレットの適切な使用について学んでいく事業である。

問 学校給食センターのフ

ライヤー排気内油分減少水フィルター設置工事とは。

答 フライヤーから出る油による臭気を押さえるためにフィルターを設置する工事である。



タブレット端末を使った授業風景

〔福祉保健課〕

問 ひきこもりサポート事業の委託先と事業内容は。

答 ステップ増穂に委託している。個に応じたサポートをしていたら就労につながった利用者もいる。

問 国保連合会事務手数料

の内容は。

答 富士川町民が職域接種などで富士川町以外で接種した場合の経費で、国保連合会に納める予定である。

〔町民生活課〕

問 コンビニ交付手数料の算出根拠は。

答 マイナンバーカードを利用して印鑑証明や住民票を取得の利用件数が年々増加していることから月平均160件と想定した。

〔子育て支援課〕

問 第1保育所の保育室床修繕の内容は。

答 床が盛り上がり、平成31年度から一部屋ずつ修理しており、4年度はぞう組部屋の修繕をすることになる。

問 中央保育所備品購入費が増加した要因は。

答 食器消毒保管庫が耐用年数が経過し、統合で使用頻度が高くなったことあり保管庫内部の損傷がひどくなったため新規購入することとした。

〔財務課〕

問 償還金利率の詳細は。

答 15年償還で、利率は0.2%から0.3%であり、利率の低い金機関から借入している。



計画的に修繕を進める第1保育所

〔政策秘書課〕

問 定住者奨励金補助の積算根拠は。

答 新規定住者対象に5年間の固定資産税相当額を交付する。継続151件、新規39件を見込んでいる。

〔議会事務局〕

問 消耗品費が増額になった要因は。

答 改選に伴う新議員の作業着や議員必携等の購入が必要になるためである。

まちづくり分科会

必要性について見直し、検討する。

【産業振興課】
問 ふるさと納税で政策的なクラウドファンディングを取り入れる考えは。

答 各課の要望があれば、検討する。

問 農林業体験宿泊交流施設の運営経費の内容は。

答 指定管理者に委託をするまでの間に要する直営の経費として、3か月分を計上した。

問 ゆるキャン△事業の計画は。

答 商工会と連携し、商店街の活性化に繋がるような事業を検討している。

【都市整備課】
問 シビックコア地区整備推進連絡協議会の今後の開催は。

答 計画に大きな変更がなければ開催しない。

問 都市計画費委託料600万円の内容は。

答 現在、整備中及び未整備の都市整備道路3路線の

必要性について見直し、検討する。

【税務課】

問 個人住民税の予算収入予測は。

答 個人所得において、増加が見込まれることや、地方財政計画において、税収の増加を見込んでいることを勘案し、予測を行った。

【防災交通課】

問 コミュニティバス運行委託料について、市川三郷町との負担金要請の協議は。

答 引き続き協議する。

問 災害対策費の委託料の内容は。

答 想定浸水深表示板の制作と設置業務委託料で、浸水想定地区ごとに5枚程度設置する。

【土木整備課】

問 経営体育成基盤整備事業費の整備状況は。

答 令和3年度計画の土録ほ場3工区は3月中に完成し、令和4年度は3工区から2工区間の農道整備と2工区のほ場整備の一部に着手する。

問 町単独補助工事補助金の内訳は。

答 令和3年度は15件の申請に対し、4件を採択した。

【管財課】

問 需用費の光熱費の内訳は。

答 新庁舎が11月に完成するため、現庁舎分596万円と完成後の新庁舎分309万円である。

問 官製談合再発防止に関わる第三者委員会の開催予定は。

答 令和3年度は、2月10日と3月17日の2回、令和4年度以降3回を予定し、答申を受けたい。



鯉沢口駅から
青洲高校前間を
結ぶコミュニティバス

営農飲雑用水事業 特別会計

問 簡易水道会計に移行できないか。

答 公債費残高が500万円程あり、完済を目的に簡易水道会計への移行を検討していく。

水道事業会計 (公営企業会計)

問 富士橋橋梁添架工事の県補助が少ないが交渉は。

答 県と協議を続けている。



架け替えが進む富士橋

全体会

3月4日の本会議で、予算特別委員会に付託された令和4年度予算について、3月9日、10日、15日に委員会を開き慎重審議を行った。討論なく、全会一致で可決した。

【予算特別委員会現地視察】

- ・まほらの湯空調設備更新工事
- ・増穂小学校夜間照明LED化工事
- ・町道最勝寺小林1号線歩道整備事業ほか

▲ 現地視察の様子 ▼



町道最勝寺小林1号線



増穂小学校

条例制定2議案・条例改正5議案を可決した。

条例制定

●農林業体験宿泊交流施設条例

- ・農林業体験宿泊交流施設の設置に関し、必要な事項を定める条例。

意見を付して可決！！

施設の運営について申し入れ！！

- ・条例審査において、所管課から主体的に資料の提出の意欲が感じられず、事務処理の怠慢と同時に議会審議に対する軽視とも受け取れる事態であった。

また、施設の運営についての計画が曖昧で、答弁内容も不明瞭な点多々あり、審査に時間を要したことは極めて遺憾であり、地方自治法に基づく手続き上、指摘せざるを得ない状況であった。

議会として、適切な事務処理を行い、施設の円滑な運営が行えるよう、当局に申し入れを行った。

●自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例

- ・自転車等の放置を防止するため、鵜沢口駅に設置する自転車等駐車場の設置に関する条例。

条例改正

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

- ・人事院規則の改正に鑑み、職員の不妊治療休暇について定める改正。

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- ・消防団員の処遇を改善するため、報酬の額を引き上げるための改正。

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- ・いじめ問題専門委員会委員の報酬額について定める改正。

●消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

- ・消防団員の処遇を改善し、現状に即した定員及び費用弁償の額の見直しを図るための改正。

●道の駅富士川条例の一部を改正

- ・道の駅富士川に農産物加工所を建設したことに伴う改正。

令和3年度

一般会計補正予算

△5億2054万円 減額補正 補正後の予算総額 102億4313万円

(対前年比 10.5%減)

おもな補正

・国民健康保険特別会計繰出金	1,320万円
・児童手当（児童措置費）	△1,100万円
・ふたり親低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業費	△1,000万円
・峡南医療センター企業団運営負担金	△1,210万円
・峡南医療センター企業団貸付金	△40,000万円
・経営体育成基盤整備事業分担金	1,575万円
・道の駅富士川農産物加工所増築他改修工事	△862万円
・道の駅富士川農産物加工所他厨房備品	△750万円
・急傾斜地事業負担金	175万円
・町道青柳9号線物件補償	155万円
・下水道事業特別会計繰出金	△1,967万円
・公立学校情報機器整備事業	129万円
・ますほ文化ホール指定管理料	△504万円

おもな質疑

専決処分案件

問 コロナ対策の抗原検査キットの使用内訳は。

答 小中学校の卒業式に参加する保護者等に利用し、その後は入学式や学校関係の行事などで有効に活用できるよう検討する。

条例改正案件

問 消防団員の報酬および出勤手当の増額根拠は。

答 県内市町村の支給状況や峡南4町の改定状況等を調査し、財政担当とも協議する中で、改定後の金額を定めたものである。

補正予算案件

問 通所型サービス事業収入が414万円減額となった要因は。

答 コロナの関係で全体的にサービス利用者が減少したこと、介護度の低い方の利用が多かったことが要因である。

問 不動産売却収入の内訳は。

答 売却の公募を行った6件の町有地のうち、長澤の土地2件、最勝寺西の入住宅の中の間譲地1件、旧母子寮の土地1件の売却収入である。

契約締結案件

問 新庁舎建築主体工事の変更金額949万円の要因は。

答 当初契約の時点、着工時に物件移転補償が完了していなかったこと、国の補助金交付決定が遅れたことが主な要因である。その中で、土工事、地盤改良工事、仮囲い工事に支障がでたためである。

第1回 臨時会

1月31日第1回臨時会を開催し、条例制定案1件、補正予算案1件、指定案1件、契約締結案2件を審議し原案のとおり可決した。

一般会計補正予算1億9915万円 補正後の予算総額107億5837万円

官製談合再発防止に係る第三者委員会の経費、住民非課税世帯等臨時特別給付金事業費など。

主な一般会計補正予算

- ・官製談合再発防止に係る第三者委員会経費 90千円
- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費 198,957千円

条例制定

- 官製談合再発防止に係る第三者委員会設置条例
- ・本町で発生した入札談合等関与行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に抵触する事案を受け、その再発防止をするため、第三者委員会の設置に関し、必要な事項を定める条例。

公の施設指定管理者の指定

- ますほ文化ホール
 - ・一般社団法人 ふじかわ
 - ・令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

契約締結

- いきいきスポーツ公園照明設置工事請負変更契約
 - ・指名競争入札
 - ・契約金額 変更前 8580万円
変更後 8705万円
 - ・契約の相手 株式会社 伸電工業
- 十谷大型バス駐車場整備工事請負変更契約
 - ・指名競争入札
 - ・契約金額 変更前 4818万円
変更後 5484万円
 - ・契約の相手 有限会社 川口工務所



○リニア対策特別委員会

トンネル新設 工事現場を視察

最勝寺地内において工事が開始された第三南巨摩トンネルほか新設工事の現場視察を行った。

J R東海の担当者から工事の進捗状況、安全管理体制などについて説明を受けた。

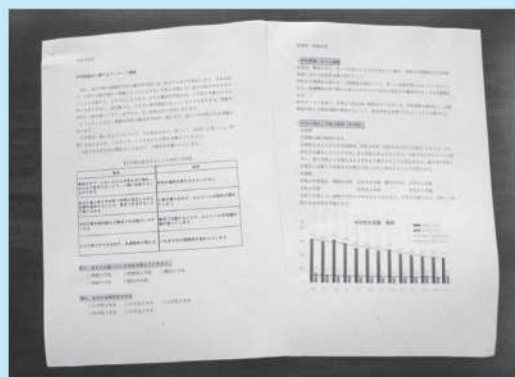


○新たな中学校整備等検討特別委員会

中学校統合に関する 意向調査を実施

新たな中学校整備等検討特別委員会は、中学校統合の今後のスケジュールについて担当者から聞き取りを行った。

中学校統合に関する意向調査や説明会を行い、令和4年秋ごろまでには町としての方向性を示していきたいとの説明を受けた。



ロシアによる ウクライナ侵攻に 断固抗議!!

全議員による決議

ロシアに対し、ウクライナへの侵略、軍事行動を直ちに中止するよう求め、政府に対し、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の撤退を求めるよう要請するための決議を全議員一致で議決した。

請願審査結果

次の請願が提出され、審査の結果採択し、内閣総理大臣、経済産業大臣など関係機関に意見書を提出することを原案のとおり可決した。

- 「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書

人 事 (敬称略)

● 教育長

新任 古屋 三千雄 (天神中條区)

● 人権擁護委員

新任 齊 藤 與 (長澤区)

新任 保 坂 みどり (中部区)

● 選挙管理委員会

委員選挙結果

委員 佐 塚 孝 之 (最勝寺区)

問 中学開校に対する基本姿勢は

答 さらに議論を積み重ねていきたい



望月 眞 議員

問 新たな中学校開校について、町長の基本姿勢は。

町長 令和5年開校に向けての真摯な議論や経過は大事にしたい。しかし、保護者や町民への情報公開や説明が不足していた印象がある。子どもたちのためにより良い教育環境を目指す点では一致している。町内の児童生徒数の推移や今後の教育環境の状況を提示し、広く町民の声を聞き、開校議論を積み重ねていきたい。

問 総合教育会議では、開校予定を延期して再検討するつもりだが、開校の見通しは。

町長 教育委員会で行う調査状況を把握し、議論を深め、結果を総合的に勘案し、秋には方針を定め決定していく。

小・中学校の校舎整備について

問 増穂小学校の大規模改修の際には現増穂中学校校舎の活用ができないか。

教育総務課長 校舎内改修工事には、仮設校舎が必要。空



外装改修工事が完了した増穂小学校校舎
今後は内装改修工事を

き校舎を活用すれば、教育活動への影響が軽減でき、工期短縮・経費削減も図れる。校舎の活用については、統合の方向性を見極め検討していく。

問 増穂中学校の新校舎建設の必要性は。

教育総務課長 令和元年度作成の長寿命化計画では、築50年経過のため、長寿命化改

修を行わず、築60年を目途に改築を検討していることから、新校舎の建設が必要であると考えている。

問 鵜沢小・中学校の整備計画の見直しは。

教育総務課長 鵜沢小校舎は、長寿命化改修の目安である築50年が経過しているため、改築を検討することとしている。鵜沢小・中校舎整備につい

ては、中学校統合の方向性を見極め、今後検討していく。

新町民体育館建設について

問 新町民体育館建設についての町長の基本姿勢は。

町長 建設是非については、財政的な検討を行い、将来負担の積算も考慮し、考えていきたい。町有地使用が最もコストを抑えられるが、候補地については新中学校開校の方向性確立後、決めていきたい。

問 今なら、合併推進債・JR東海補償費の活用で財政負担を抑えられるが。

町長 JR東海の移転補償や、合併推進債の有効期限令和6年実施設計完了も見据え、議論につなげていきたい。

問 新中学校開校、校舎整備、体育館の建設は相互に関連するが、総合的見解は。

町長 町の今後の財政も見据えながら、連動して判断していく局面だと考えている。



井上光三 議員

問 農林業体験宿泊交流施設の運営は

答 指定管理が決まるまで町が運営

問 農林業体験宿泊交流施設の運営はどのよう行うのか。
産業振興課長 指定管理者が決まるまで、町が運営する。

問 指定管理予定の平林活性化組合とどのような協議を行ってきたか。
産業振興課長 これまで3回協議を行った。今後、指定管理の協定につなげていきたい。

感染症対策室について

問 感染症対策室が設置されたが、これまでの組織体制に課題があったのか。
町長 現状では対応しきれない想定外の事態に備えて、専門チームとしての組織を新設した。

問 感染症対策の役割など、町民への周知徹底はどのように行っているか。
福祉保健課長 今後、ワンストップ相談窓口対応に向け、広報やホームページで情報発信する。

問 感染症対策に関し、どのような事業を計画しているか。
福祉保健課長 当面、ワクチン接種に傾注するが、生活支援に向けた施策を検討する。

副町長設置について

問 副町長設置は考えているか。
町長 当面、副町長は置かない。

中学校統合について

問 これまでの教育委員会や議会が検討してきたことを反故にするのか。
町長 反故にすることはない。これまでの検討内容を尊重し、丁寧な議論を進めたい。

問 統合について禍根を残すという発言があったが。
町長 保護者への説明不足があったということである。



農林業体験交流宿泊施設（平林・旧西小跡地）

あったということである。

実質公債比率 健全化判断について

問 実質公債比率が悪化していると発言しているが。
町長 年々比率が上昇しており、数字を並べただけの表現である。

問 健全ではないと考えるか。
町長 健全である。

メディカルタウン 構想について

問 メディカルタウン構想の具体案は
町長 一次医療と峡南医療センターの連携の強化を図ることなどである。

討論型世論調査 について

問 討論型世論調査はどのような案を考えているか。
町長 町の方向性を左右する大きな政策課題を導入を検討。



青柳 光仁 議員

問 まほらの湯の 指定管理料は

答 算定方法の見直しを 考えている

問 まほらの湯の年度協定書の指定管理料計算式はおかしいと思うが、現在の計算方式の根拠は。

産業振興課長 累積赤字の総合計を経過指定管理年数で除した金額と、累積赤字の総合計を残りの指定管理年数で除した金額の合計として、3年度は420万円を支出した。

問 令和4年度の年度協定書も令和3年度と同様の協定書になるのか。

産業振興課長 令和4年度は、算定方法の見直しを行い、指定管理先と協議を行っている。当初予算では暫定で計上し、新たな算定として、事業投資している当該年度の長期借入の返済原資を管理料と考えている。しかし新型コロナウイルスや燃料費高騰の影響もあり、不足が生じた場合には補正予算で対応も考えている。

問 町が直営している施設も、今後指定管理となった場合は同様の年度協定書になるのか。

産業振興課長 新たな指定管理者の場合は、現在の計算方法でなく、協議をして決めていく。

リニア側道計画 について

問 リニア側道計画の現在の進捗状況は。

土木整備課長 側道整備の用地取得に必要な測量設計業務

を行い、令和元年度からはJR東海および山梨県リニア用地事務所と協力し、側道整備に必要な44軒の用地を取得し、計画全体の29%の用地取得率である。

問 町が考える側道の用地買収および工事等の事業費の見通しは。

土木整備課長 用地買収費および物件補償費に約3億2千



工事が進むリニア橋脚

万円、道路改良工事および舗装工事費に約8億8千万円、測量設計など委託費が約1億円で、総事業費は約13億円を見込む。

問 7大事業では、単独事業費の90%を起債で賄う計画である。10年先にはなるが、側道に関する財源の内訳見通しは。

町長 これまでは、国庫補助金6億5千万円、起債およそ6億5千万円の半分ずつであった。JR東海に対して補償金に関する要望を行い、導水路等の付替え補償金として約5億円の提示を受けた。現段階の財源内訳は、国から約4億2千万円、JR東海の補償金約5億円、町の負担額約3億8千万円となるが、その内3億5千万円を県の振興資金の対象としていることから、借入額の50%の1億七五〇万円と、対象外の3千万円と合わせた2億5百万円が町の一般財源と見込んでいる。今後重要望活動を行い、一般財源の圧縮に努める。



小林有紀子 議員

問 消防団の定数削減は

答 第8分団を統合し 定数削減

問 まちづくり常任委員会で、消防団員からの意見や要望をまとめた提言書を町長と団長に提出した。定数削減などの条例案が提出されたが、今後の活動や運営は。

町長 分団の意見や地域の実情を踏まえ、現状に即した定数とするため、第8分団の定数削減を行う。今後も処遇改善、団員確保のための年額報酬や出勤報酬の見直し、資機材の更新など消防団組織の発展と持続可能なまちづくりのため、各取り組みを推進する。

問 消防団の果たす役割は大きく、その意義や重要性について、もっと周知すべきではないか。

町長 全町挙げて議論を進め、魅力ある地域の安心安全を守っていく消防団として拡充していきたい。

問 地域の自主防災組織の活動状況は。

防災交通課長 今年度7地区が地区防災計画を定めた。

問 自主防災組織に女性の参

画を進める考えは。

防災交通課長 区や自主防災組織に今後働きかけていく。

問 防災講習会などの実施は。

防災交通課長 検討していく。

問 本年は「町地域防災計画」見直しの年度。防災会議の女性の割合を増やす考えは。

防災交通課長 女性の意見も非常に大切である。各機関に対し、女性の委員の選出を呼びかけていく。

上水場の 水質改善は

問 山王地区などで給湯器が水質の問題で故障するとの声がある。硬度処理と点在している漏水箇所の調査など、抜本的な改善策が必要では。

上下水道課長 上水道の硬度が高いことが原因である。現在、鵜沢中区・南区は大法師配水池から給水を行っている。平成15年に硬度除去設備を導入したが、経年劣化により機能を十分果たしていない状況

である。令和4年度から硬度除去設備を計画的に改修し、硬度除去に努めてまいりたい。

子宮頸がんワクチン 接種の再開

問 昨年11月、国は中止していた積極的勧奨を再開した。本町の取り組みは。

子育て支援課長 ワクチンの安全性や接種による有効性が

副反応のリスクを上回ると認められたため、令和4年4月から対象者に通知を送付する。

問 積極的勧奨を差し控えていた期間に、接種の時期を逃した方への対応は。

子育て支援課長 平成9年度生まれから今年度高校1年生までの方は、令和7年3月までの3年間、接種が可能となった。



団員の処遇改善に期待（統合される第8分団）



堀内春美議員

問 ひとづくりのための行政に力を

答 一步一步進めたい

貧困家庭への支援について

問 コロナ禍で収入が減少し、経済的に大変な子どもがいる家庭への支援をどのように考えているのか。

答 子育て支援課長 国では、子育て世帯や低所得者のひとり親家庭を対象とした給付金の支給、県では子育て家庭休業助成金の配布。町では元気応援券を就学援助や児童扶養手当の受給世帯に追加配布した。また、親の支援という側面からハローワークや県の母子・父子自立支援員と連携し、就労支援を図っていく。

問 南アルプス市では、こども食堂やフードバンク山梨などがあり、市民と行政が連携して貧困家庭への支援をしている。富士川町にも協力したいという考えの町民がいる。連携して支援体制を構築したかどうか。

町長 子どもの貧困については、国の方針ではその家庭の

みの責任とせず、地域や社会全体で課題解決するとして、本町でも、第2次富士川町子ども・子育て支援事業計画で、子どもの貧困対策の推進を掲げており、その施策のひとつとして、地域の方のご協力をいただき子ども貧困の解消に取り込むため、「富士川町地域ネットワーク」を構築した。このネットワークは、誰もが参加することができる。現在ネットワークには、地域の住民、子どもに関係する機関や民間NPO法人、民生児童委員、社会福祉協議会などが参加し、それぞれの強みを活かして分担、連携し、地域の子どもたちを支援することを目指し、活動の方向性や連携の在り方を検討している。

問 子どもは町の宝で、町の将来を担うため大事にしなければならぬ。定年退職した女性たちが、地域の役にたきたい、ヤングケアラーの憩いの場所・こども食堂を始めたいと言っているが、場所がなく進まないのが現状である。

町が使用していない施設の提供はどうか。

町長 困っている人がいる。一方で何とか支援の手を差し伸べたい。できることはやっていきたい。全ての人が居場所と出番がある。そういう町づくりを進めていきたい。町でも施設の検討など、さまざまに検討を進めながらひとづくりの町へ一步一步進んでいきたいと思っている。



食事の提供で子どもたちに支援を（子ども食堂）



菅本 壽彦 議員

問 教育文化会館の
利活用は

答 利用希望者がいない
ので解体予定



現在使用中の教育文化会館

問 解体予定の教育文化会館だが、改めて使用者を再募集する考えはあるか。

町長 昨年度に鰺沢中区に利用希望調査を行ったが利用希望が無かった。すでに解体予定であり、利用者の再募集は考えていない。

問 解体後の利用活用案は。

管財課長 屋外トイレは残る予定だが、その他の活用は検討する。

問 一般的な建物より頑丈に建てられ、多額の解体費用が掛かると思うが、出費を少なくする考えはないのか。

管財課長 財政的に厳しい時でもあり、維持管理しながら

持ち続けることは困難である。解体せずに処分できることが可能であれば検討する。

問 現在二つの課で使用している。照明、エアコン、机もイスも揃っている。中学生や高校生が快適に学習できる施設として使用できると考えるが。

管財課長 使える部分はあるが、維持管理費用は極力注ぎ込みたくはない。鰺沢地区の児童センターや建設中の図書館で学習環境の役割を果たせる。なおかつ必要な部分があれば検討する。

鰺沢中学校・増穂中学校の校則について

問 両校の校則は簡潔に記載されているが、細かく明文化されたものが生徒や保護者に周知徹底されているか。

教育総務課長 新学期が始まる時、特に一年生においては学級指導で、具体的な服装や髪型について指導している。

問 「不自然に」とか「中学生らしく」との表現が、生徒・保護者に理解されているか。

教育総務課長 社会環境や流行の変化への対応において具体的に明記するのは難しい。極端な髪型などは複数の教師が相談して指導内容を決めている。

問 健やかに伸び伸びと気持ち良く中学校生活を過ごせるように、生徒や保護者の意見を反映した校則が重要だと考えるが。

教育総務課長 学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況変化に応じて、校則の見直しを随時行っている。

問 生徒や保護者が、教育委員会に直接相談するのは可能か。

教育総務課長 生徒や保護者が校則への対応について行き詰まった時など、教育委員会で学校担当者も含め、適切に対応していく。



秋山 仁 議員

問 橋の長寿命化 修繕計画は

答 予防保全型が 中心である



損傷は軽微なうちに修繕工事を行う

問 修繕方針として、予防保全型が中心だが、具体的方策は。

土木整備課長 損傷の主なもの、排水や橋台などの土砂詰まりなどで、日頃のメンテナンスで対応していく。

問 令和4年度までに実施される、108箇所の補修修繕計画を公表すべきでは。

土木整備課長 町内の橋梁の状況を知らせるためホームページに公表する。

問 リニア工事で頻繁にトラックが行き交うが、異常時の確認の方法は。

土木整備課長 パトロールや点検を行い、損傷などが確認された場合はJR東海と協議する。

学校給食食材について

問 JAでは学校給食の農産物集約納入部門を撤退する予定だが、今後の納入体制は。

教育総務課長 学校給食センターが必要とする定量を継続し、品種や大きさ、持込時間などの納入条件が満たせる生産者であれば、JAが撤退しても納入は可能である。

問 農産物を集約する納入組織の支援体制は。

教育総務課長 農産物を集約する納入団体等の新設は考えてない。

町長 民間と行政が公民連携しながら進めていきたい。

問 地産地消の給食を段階的に導入していくという町長の考えは。

町長 安心安全で安定納入が可能な生産者から、地元農産物が購入できるようにしたい。将来的に地元野菜の顔の見える農産物で、子どもたちの給食を賄っていききたい。

問 食育の観点からグループを立ち上げる場合、財政支援はあるか。

町長 検討し出来る限りバックアップする。

問 新規就農者、認定農業者の担い手の推進に向けた勉強会に補助金制度の活用は。

町長 県の農政部と相談しながら、協働してさまざまな施策の推進をしていく。

山間地などの買い物支援について

問 高齢化が急速に進み、買い物に支障をきたしている人達の対策は。

福祉保健課長 来年度、住民全体による支え合いの輪を広げ、協働して地域の課題解決に取り組む場として、新たに「協議体」の創設を考えている。フォーラムを開催し、地域での困りごとを地域で解決できる体制を構築する。

問 移動販売事業者に支援の考えは。

福祉保健課長 福祉・介護事業として支援制度はないが、地域に必要な新たなサービスについて、協議体で議論していく。

令和4年度 各組合予算

峡南医療センター企業団議会

3月25日に定例会が開催され、条例改正案3件、令和4年度予算案1件を原案のとおり可決した。

令和4年度予算〈予定損益計算書〉

医業収益・事業収益	44億 405万円
医業外収益・事業外収益	6億3591万円
(収益合計)	50億3996万円
医業費用・事業費用	47億9634万円
医業外費用・事業外費用	1億7122万円
(費用合計)	49億6756万円
経常利益	7240万円

峡南広域行政組合議会

3月23日に定例会が開催され、条例改正案4件、令和3年度補正予算案4件、令和4年度予算案4件を原案のとおり可決した。

令和4年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	16億3281万円	3億8148万円
情報センター特別会計	3971万円	0万円
介護保険特別会計	2億2102万円	0万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	714万円	0万円
(合計)	19億 68万円	3億8148万円

三郡衛生組合議会

3月29日に定例会が開催され、専決処分案1件、令和4年度予算案3件を原案のとおり可決した。

令和4年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	2976万円	515万円
火葬場	1億5562万円	1635万円
し尿処理場	4億 887万円	5202万円
(合計)	5億9425万円	7352万円

中巨摩地区広域事務組合議会

3月30日に定例会が開催され、令和3年度補正予算案件、令和4年度予算6件を原案のとおり可決した。

令和4年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	4631万円	376万円
ごみ処理事業	13億1016万円	8887万円
公園事業	917万円	77万円
老人福祉事業	2974万円	241万円
勤労青年センター事業	3905万円	293万円
し尿処理事業	2億7547万円	0万円
(合計)	17億 990万円	9874万円

山梨西部広域環境組合議会

3月30日に定例会が開催され、専決処分案1件、条例案2件、条例改正案3件、令和3年度補正予算案1件、令和4年度予算案1件を原案のとおり可決した。

令和4年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	1億8595万円	759万円



7人のモニターさんから 感想・ご意見を いただきました

米山 卓さん



議会だよりのモニター活動を通して、貴重な経験ができ勉強になりました。町民に関心のある記事が多く、町政について改めて考えさせられました。これからも多くの意見を取り入れ、住みやすい町とその発展につながるよう期待します。ありがとうございました。

井上理香さん



議会だよりのモニターに参加してとても貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。内容もわかりやすくとても充実していて良いと感じました。これからも町民の声が反映され今まで以上に良い町になる事を願います。

保坂大輔さん



議会を身近に感じる事ができた一年間でした。議会だよりの紙面に対して、より見やすく理解しやすいレイアウトを考え意見させていただきました。今後の紙面作りの参考になれば幸いです。この度は貴重な体験をさせて頂き、誠にありがとうございました。

1年間 ありがとう ございました

いただいたご意見を反映してより良い議会だよりの作成に努めてまいります



功刀 宏さん



町民が読みやすい議会だよりになればという思いで、感じたことを率直に書かせて頂きました。おかげで私自身も町議会というものが身近になりました。議会だよりを通して町民一人ひとりが、町政を身近に感じられるようになることを期待しています。

深澤光広さん



モニターに参加し貴重な体験をさせて頂きました。今後も読み町の事を知っていきたいと思います。これからも分かりやすい広報をお願いします。

太田弥奈さん



議会だよりのモニターとして、1ページ1ページじっくり読み、子育て世代として、感じる事思う事を回答させて頂きました。これから子供、高齢者、障害者など皆に優しい町にもっともって発展していく事を願っています。ありがとうございました。

磯野文一さん



とても貴重な体験することが出来ました。モニター活動を通して、議会だよりを真剣に読む様になり、自分の町について考える良い機会を頂きました。町の発展の為にこれからも頑張ってください。

議会広報モニター募集

議会では、町内在住の20歳以上の方（町職員・町議会議員とその家族を除く）で、議会広報の批評や提言の提供をしていただけるモニターを次により募集します。

- ・募集人員 8人
- ・任期 1年
- ・締め切り 令和4年5月13日(金)
- ・お問い合わせ・応募先

議会事務局 ☎0556(22)7211

わが区の自慢!!

●このコーナーでは、各区の誇れるもの、活動などを紹介していきます。

平林区

第2のふるさとに

～活性化は邑づくりから～

平林区は、町の北西部に位置し、棚田の広がる美しい景色が広がっています。それだけでも魅力的な風景ですが、一緒に富士山が写真に収められる珍しい地域です。

しかしながら時代の移り変わりに伴い、人口の流出が続き、住民からの「ふるさが荒廃していくのを見るのは残念、何らかの形で活性化したい。」との強い思いを反映させ、都市との交流により地区に人を呼び込む「平林体験農園休憩交流施設」の建設が行われました。施設の運営とあわせ、地域の諸問題を克服・解決し、活性化や耕作放棄地の発生防止を図るための組織「平林活性化組合」が設立されました。

活性化組合は、地区全戸を構成員としてスタートしたことで、区民盆踊り大会や運動会などのイベントはもとより、各組織・団体などが行う行事に連携協力をいただき、地域全員で活性化に取り組んでいます。地区の財産である「景観」を活用する中で区外の人を呼び込んだ交流事業などにより、「邑づくり」を推進し

ています。この取り組みにより移住する家族の増加や定年退職後に地域に戻り、農業を始める方も出るなど、かつて激減した人口もほぼ横ばいとなっているほか、女性の社会参画、高齢者の生きがいづくりも一層促進され、地域の活力低下を防ぐ役割も果たしています。組合では「美しい農村景観」「農業体験」「農産物販売や地域食材を使った料理の提供」など、平林を訪れる方々に「第二のふるさと」と感じてもらい、交流や定住が促進されるように取り組んでいます。



棚田の広がる美しい景色

区の概要

人口	223人	男	115人
		女	108人
世帯数	120戸		
(令和4年4月1日現在)			

穂積区

日出づる里

～三つの自慢と住民の清らかな心～

■ダイヤモンド富士

穂積の高下地区は、「ダイヤモンド富士」の絶景ポイントとして有名で、「日出づる里」と呼ばれています。

富士山の頂上から昇る太陽がダイヤモンドのように美しく見えることからそう呼ばれており、冬至から正月までの約二週間、ダイヤモンド富士を見ることが出来ます。

また、ここからの富士山の眺望は、「関東の富士見百景」や「新富嶽百景」にも認定されています。

■高村光太郎文学碑

ダイヤモンド富士の眺望付近には、高村光太郎の文学碑があります。

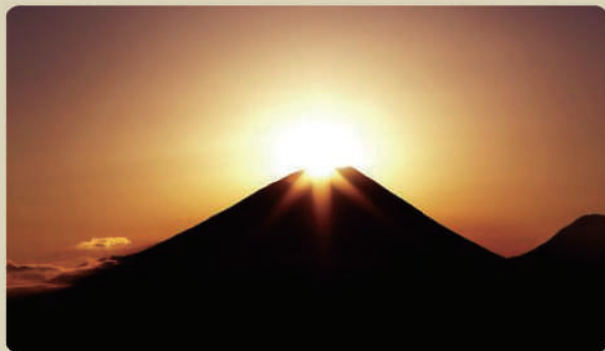
光太郎の直筆で、「美しきものみつ」と記されています。「ここには美しいものが三つある」という意味で、一つ目は富士山、二つ目は柚子、三つ目はここに住んでいる人の心の清らかさ、だと言われています。

光太郎が取材でこの地を訪れたとき、目前に迫る富士を見て、「私は多くの富士の名所を尋ねたが、こ

んな立派な富士は初めて仰いだ。」と、感嘆したそうです。

■「ゆるキャン」の聖地

ダイヤモンド富士のスポットは、アニメ「ゆるキャン△」に登場する聖地として密かに話題になっています。映画「ゆるキャン△」は令和4年7月公開予定です。



高下から見たダイヤモンド富士

区の概要

人口	388人	男	183人
		女	205人
世帯数	209戸		
(令和4年4月1日現在)			